

平成25年 第1回（定例）高 鍋 町 議 会 会 議 録（第5日）

平成25年 3月15日（金曜日）

議事日程（第5号）

平成25年 3月15日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

（一般質問通告一覧表）

順位	質問者	質問事項 質問の要旨	質問の 相手	備考
4	16番 津曲 牧子	1. 平成25年施政方針について *子育て支援について ①「子どもがにぎわうまちづくり」を目指しての町政3期目に取り組む具体的な内容を伺う。 ②子育て世代に対する負担軽減策を伺う。 ③町立図書館の利便性の向上はどのように図られるのか伺う。 ④東小放課後児童クラブの施設建設の計画を伺う。	町長	
		2. 災害対策について *災害時要援護者支援について ①高齢者福祉施設、幼稚園、保育園、小中学校に於いての防災マニュアルについて、行政はどのように把握されているのか伺う。	町長 教育長	
5	10番 後藤 隆夫	1. 消火設備の点検及び設置について *住宅近辺及び公共施設、介護施設等の消火栓、消火設備は整備されているか。 ①施設関係のスプリンクラー・火災報知機等の機能点検及び指導はどのように実施されているか。 ②501箇所ある消火栓の点検は。 ③施設及び住宅密集地、団地等の消火栓近辺に「消火ホース格納庫」を設置し、活用することで初期消火及び延焼防止等、大火災の予防に威力を発揮できると考えるが設置の意思はないか。	町長	

		2. 自主防災組織について ①自主防災組織の育成及び進捗状況は。 ②運用上のマニュアル等は作成されているか。 ③組織と行政、消防署等との連携及び定期的な訓練会合は開かれているか。 ④緊急用資機材等の貸与は考えていないか。 (例：収納箱・シート・ロープ・縄梯子・ハンマー等)	町 長	
6	8 番 黒木 正建	1. 高鍋駅舎の整備について ①具体的な内容について伺う。	町 長	
		2. 施設事業所の移転に伴う跡地利用について ①社会福祉法人晴陽会うからの里高鍋事業所(蚊口地区)を児童、住民等の交流の場として活用したいので伺う。	町 長	
		3. 蚊口浜地区の枯れ松伐倒駆除について ①継続的に実施できないものか伺う。	町 長	

出席議員 (15名)

1 番 水町 茂君	2 番 徳久 信義君
3 番 岩崎 信や君	5 番 緒方 直樹君
6 番 池田 堯君	7 番 中村 未子君
8 番 黒木 正建君	10 番 後藤 隆夫君
11 番 青木 善明君	13 番 永友 良和君
14 番 時任 伸一君	15 番 八代 輝幸君
16 番 津曲 牧子君	17 番 柏木 忠典君
18 番 山本 隆俊君	

欠席議員 (なし)

欠 員 (1名)

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 壱岐 昌敏君	事務局補佐 鳥取 和弘君
議事調査係長 山下 美穂君	

説明のため出席した者の職氏名

町長 …………… 小澤 浩一君	副町長 …………… 川野 文明君
-----------------	------------------

教育長	………	萱嶋 稔君	教育委員長	………	黒木 知文君
農業委員会会長	………	渡瀬 俊弘君	代表監査委員	………	黒木 輝幸君
総務課長	………	間 省二君	政策推進課長	………	森 弘道君
建設管理課長	………	芥田 秀則君	農業委員会事務局長	…	長町 信幸君
産業振興課長	………	田中 義基君	会計管理者兼会計課長	…	井上 敏郎君
町民生活課長	………	三浦 敏君	健康福祉課長	………	河野 辰己君
税務課長	………	原田 博樹君	上下水道課長	………	日野 祥二君
教育総務課長	………	三嶋 俊宏君	社会教育課長	………	中里 祐二君

午前10時00分開議

○議長（山本 隆俊） おはようございます。只今から本日の会議を開きます。

### 日程第1. 一般質問

○議長（山本 隆俊） 日程第1、一般質問を行います。

14日に引き続き、順番に発言を許します。

まず、16番、津曲牧子議員の質問を許します。

○16番（津曲 牧子君） 16番。皆様、おはようございます。東日本大震災が起きてから、この3月で2年を迎えました。高鍋町では、10日の日に高鍋大師花守山の植樹祭が行われ、昨年に引き続きことしも多くの方がそれぞれの思いを遠く被災地へ込めて桜の苗木を240本植えました。国道10号線から復興のシンボルとして満開の花が見られるようになるのを心待ちにしています。町民の思いが一つになれるまちづくりへと広がることと思います。

また一方では、我が町に、我が身にいつ起こり得るかわからない大災害に備えての防災対策は、私たちの生活において最大の関心事であり、小澤町長の今後の町の安全対策に対して大いに期待するところです。

では、一般質問をいたします。

まず、一つ目の質問は、小澤町長の平成25年度町政運営に関しての所信の内容について伺います。

昨今、子供たちを取り巻く環境が刻々と変わり、家庭、学校、地域における従来のあり方を見直しながら、様々な課題に柔軟に対応していく必要性を痛感しています。

そこで、施政方針の優先課題に挙げておられる人にやさしいまちの取り組みの中の地域社会における子育て支援についてお伺いいたします。

子どもがにぎわうまちづくりを目指しての町政3期目に取り組む具体的な支援は、どのような内容でしょうか。

施政方針の中に、子育ての不安が解消され、高鍋町で子供を生き育てようと思える子育て世代が住み続けたいと思えるまちを目指す取り組みの実施を挙げておられますが、子育て

て世代の厳しい生活状況における負担軽減策としては、こういった方策をお考えでしょうか。

次に、施政方針には、図書館に関しての内容はありませんが、町民はもちろんのこと、子育て世代においても図書館利用は重要な生活圏の中にあり、またこの町にずっと住み続けたいと思う条件の一つとしても挙げられると思いますので、質問をいたします。

町立図書館の存在は大きく、文教の町・高鍋の図書館として昨年度より明倫堂貴重図書展での古文書の注目度も非常にアップしています。今後、図書館の利便性の向上はどのように図られるのでしょうか。

国の2013年度の政府予算案で、放課後児童クラブの充実のための予算はかなり組み込まれています。本町でも放課後対策は当面の課題ですが、東小放課後児童クラブの施設拡充についてどのような計画があるのか、お伺いいたします。

二つ目は、災害対策についての質問です。

くしくも3月11日の夕方、高鍋町で震度3の地震がありました。この揺れがこのままずっと続いたらと、不安に感じたのは私だけではなかったと思います。災害が起こった際に、要援護者の支援についてはどのような対策がとられるのか。高齢者や子供といった要援護者を抱える家族にとっては、大変危惧をするところです。

そこで、町内の高齢者福祉施設、保育園、小中学校における防災マニュアルについて、行政はどのように把握されているのか伺います。

また、昨日、一般質問された議員の質問と重複する項目がありますが、通告どおりに質問をいたします。

あとは発言者席から行います。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。おはようございます。それではお答えをいたします。

まず、子どもがにぎわうまちづくりを目指しての具体策についてであります。これまでも保育事業や各種施策の実施により、子育て支援の充実に努めているところであり、児童館への助成や、地域子育て支援事業などを継続して実施するとともに、延長保育事業、放課後児童クラブや乳幼児医療費助成事業の拡充、一時・休日保育事業、子育て短期支援事業や、ファミリーサポートセンター事業、子育て応援フェスティバルを新規に実施し、子育て環境の充実に努めてまいりました。

また、子育て応援とくたく商品券の販売など、商店街と連携した施策を行ってきたところでもあります。

3期目に当たりましても、これらの事業を継続して子育て支援を行うとともに、小中学校4校をコミュニティースクールとして指定し、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支えていく地域とともにある学校づくりを進めるための学校運営協議会の設置、障害児を含めた障害者の相談を、総合的、一元的に行う基幹相談支援センターの設置、世代間交流によって子供の社会性や豊か

な情操性をはぐくむことも目的とする高齢者等多世代交流拠点施設の設置などの施策を実施してまいりたいと考えております。

次に、子育て世帯の経済的な負担軽減策についてであります。小学校入学前までの医療費を助成する乳幼児医療費助成などを行っております。また、発達障害など問題を抱える児童を支援するため、要支援児童ネットワーク会議を設立し、教育委員会や小学校と連携しながら、問題を抱える児童がスムーズに就学できるよう支援体制を構築したところであります。

次に、町立図書館についてであります。図書館は、閲覧室、駐車場のスペースの問題など、町民の皆様から御意見をいただいております。また、建設当時から比べ蔵書数も多くなり、広範囲な分野をできる限り並べており、スペースを最大限に利用できるように書架や机を配置しておりますが、スペースに余裕がない状況であります。そのため、総合的に検討しているところであります。

次に、東小学校放課後児童クラブの拡充についてであります。現在、学校内に新たな施設ができないか検討しているところであります。

次に、高齢者福祉施設、保育園の防災マニュアルについてであります。町内の高齢者福祉施設、保育園につきましては、防災マニュアルが整備されております。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 教育長。災害対策についてお答えいたします。

お尋ねの小中学校の防災マニュアルは、国や県の指針や手引きを参考に、教育委員会の意見を聞き、学校の実情に応じて各学校が作成いたしております。

作成されたマニュアルは、教育委員会に提出を求め、各学校に対してはマニュアルに基づいた訓練を通して検証を行い、より実践的なマニュアルを目指して改良改善を加えるよう指示しているところです。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。今、町長から答弁をいただきまして、子育て世代に対してあらゆる面からの支援を行っていただき、また今後も支援をしていただく事業の継続をお話しいただきましたので、よろしく願いいたします。

放課後児童クラブに関しましては、前回も質問をさせていただきましたが、検討してくださるということですし、本当に放課後児童クラブの申し込みに関しては、年々申し込みの増加があります。これが現実ですので、今後の少子化対策や子供たちの将来を見据えて、高鍋町を担ってくれる子供たちのことですので、町長のきょうのお言葉どおり取り組みの実現をよろしく願いいたします。

次に、図書館についてですが、現在の高鍋町の図書館は、初代館長である柿原政一郎からの歴史を感じさせる、そしてまた秋月毅堂書庫、明倫堂書庫とすばらしい建造物からなっています。ほかの自治体との比較もちよっと耳にするところなんです。高鍋図書館は高鍋らしさを残しつつ、幅広い世代の町民の意見を反映される図書館づくりを要望いたし

ます。

もう一つお聞きしたいんですが、建物の改築についてのお考えがあるかどうか、お聞かせください。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。お答えいたします。総合的に考えながら進めていきたいと思っております。あそこは狭いようですので、どういうふうな方向性を持っていくか、ここ1年ぐらいかけて、1年、2年になるかもしれませんが、どういった方向が一番いいのか、当初、今まで言われました二つの貴重な資料もございますので、あの辺はちょっと低い土地柄ですので、今ちょっと水が出ませんが、いざというときは水が出るかもしれませんので、そういうところまでよく勘案しながら、最善の方向に向けていきたいと思っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。よろしく願いいたします。

続いて、災害対策について質問いたします。

今、答弁にありましたように、それぞれの施設でマニュアルに沿っての避難訓練は、各施設で行われているようですので、いま一度質問いたします。

訓練後の施設関係者からのいろんな課題なり問題点なり上がってくると思いますが、行政のほうではそういう聞き取りは行われているのでしょうか。お伺いいたします。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 健康福祉課長。福祉課関係の保育園でありますとか、高齢者の施設におきましての訓練の状況等についてお答えをしていきたいと思っております。

町内のほとんどの高齢者福祉施設におきましては、日中、風雨、夜間といった様々な状況を想定しまして、災害の訓練を実施しておるところでございます。

また、保育園におきましても、毎月1回、避難及び消火訓練を実施しております。

今後も、利用者や園児の安全確保が図られますよう、マニュアルの見直しを含めて安全管理の徹底を求めていくところでございます。

保育園のほうからも、私どものほうで定期的にどういった訓練が行われているのか、マニュアルの制定状況でありますとか、そういったものを含めて聞き取りを行って、報告等を求めているところでございます。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。今、お答えいただきまして、小中学校のほうの防災マニュアルの見直しというのは、どういう形で行われているのでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 教育長。各学校から課題、あるいは成果等の報告をもらっておりますけれども、24年度は実際にその現地、農業高校のグラウンドですけれども、現地、あ

るいは現地の近くまでの避難訓練が行われるようになってまいりました。実際に行ってみてのいろんな課題も報告されておりますので、今後そういったところも含めて、更にマニュアルをより実践的なものにするように考えていかなければならないと考えております。

また、学校によっては引き取りの訓練、実際の保護者の引き取りのところまでの訓練を考えたところもありましたけども、当日雨が降ったためにそれができなくて、そこまで行きませんでしたけども、学校によっては保護者の引き取りのところまで考えたマニュアルの作成も進んでいるところがございます。

今後、避難訓練を繰り返しながら、少しずつ改善をしていかなければならないというふうに考えております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。訓練後の防災計画なり、防災対策の見直しは、非常に多岐にわたると思います。施設関係者の方も本当に困難なことだと、何から手をつけたらいいのかわからないという状況もあると思いますので、行政としての役割は非常に大きいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

今、高鍋町内に17名の防災士がいらっしゃるということをお聞きしました。この防災士の方たちに、行政からの要請を受けて町民向けの講座や、また学校関係の防災教育などの積極的な貢献もあるようですので、協力していただいて、この17名という防災士の方の数はまだまだ今からふえるとは思いますが、今後そういう方にも協力をしていただいて、行政としては指導も考えていらっしゃるのかどうか、お聞きいたします。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。防災士を行政として年々ふやしていただいて、各地区との連携と行政との連携をとっていただいて、今後の防災に努めていきたいと考えております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。昨年から、高鍋町の防災訓練は2回行われています。また、それぞれの地域での防災訓練も、活動としては活発に行われているとお聞きしますが、それぞれの施設の関係者の方に、高鍋町のほうから、町のほうから、その避難訓練への参加要請などは、今行われているのでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。各施設というか各行政団体には、防災訓練についての呼びかけ等は行っております。ただ、津波等については、各地区に、各地区自体自主性を持っていただくということで、一応お知らせ等を通じて、一緒に参加していただけないでしょうかという要請は行っております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。実際に去年、私の住んでいる菖蒲池西地区でも、避難の場所が高鍋東小学校の校舎の屋上でしたので、実際に東小学校の校長先生、教頭先生、

菖蒲池西の避難訓練に参加していただきました。日ごろ私たちもなかなか校長先生のお顔を知ることができませんので、そして校長先生のほうもまた、自分の施設のある地域の避難訓練に参加することで、また地区の住民とのコミュニケーションも図られましたし、また実際に具体的に避難することで、またいろんな問題点も上がってきましたので、これは公民館に投げかけてくださるということですので、その施設のある公民館は、また施設のトップの人をお願いするということなんですが、合わせて行政のほうもそういう案内を、お知らせを出してくださるといいと思います。お願いいたします。

それから、これは釜石市の中学生なんですが、近隣の保育園児、小学生、高齢者の率先避難者として、大震災の避難のときに手助けしたことは、記憶に残っていることなのですが、高鍋町でも、幼稚園、保育園、小中学校が連携して取り組む防災教育を考えていただきたいと思うところなんですが、その辺のところは、教育長、防災教育としてはどのようなお考えがあるでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 教育長。中学生に、小学生、あるいは幼稚園生の避難を最初から事前に助けなさいよということは、これは簡単には言えないというふうに考えております。中学生段階の子供に幼稚園生なり小学生なりの命に対して責任を持たせるという結果になって、非常に重い負担を与えることになりますので、あくまでもその釜石の奇跡は、「てんでんこ」の考え方に基づいて自分の判断で逃げる中で、その避難経路の中で出会った子供たちを支援したということでありますので、最初からその子供たちを助けなさいというような、そういう連携は難しいと思っております。ただ、避難経路を合わせるとか、あるいは避難誘導を協力して行うとかいったような連携はできるのではないかとというふうに思いますし、同じ避難経路の中に小さい子供がいたときに、そのとき自分がやれる範囲の、手助けができることはできるのではないかとおもいますが、最初から子供をおぶって行きなさいとか、そういうことは私はできないというふうに考えております。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。もう1点、お尋ねいたします。

先ほどの町長の答弁の中にもありましたが、来年度から小中学校でコミュニティースクールが設置されるようです。この中で、防災関係、防災教育に関してどのような形で示されているのか。来年度ですので計画でしょうけれど、お聞かせください。

○議長（山本 隆俊） 教育長。

○教育長（萱嶋 稔君） 教育長。今、コミュニティースクールのことが出ました。コミュニティースクールは、中学校区に一つ学校運営協議会を立ち上げますので、一つの学校運営協議会の中には、中学校区全体が含まれてきます。小中学校合同で地域の方々の意見をいただいて、それを学校運営に生かしていくという仕組みですので、当然、その中で幼稚園、あるいは保育園との連携ということが話題になり、検討されていくんじゃないかということを期待しているわけです。

コミュニティースクールは、子供の安全見守りだけではなくて、学習支援ですとか、あるいは子供たちの学習環境の、例えば花の植栽等の支援ですとか、そういったことも当然出てまいりますので、全体的なコミュニティースクールの検討の中で、そういう地域との連携による訓練ということも出てくるのではないかとというふうに期待しているところです。現在、具体的なものは、何一つまだございません。

○議長（山本 隆俊） 16番、津曲牧子議員。

○16番（津曲 牧子君） 16番。今、お答えをいただきまして、私たちとしましても、このコミュニティースクール、学校関係のこういう取り組みはとても、本当に興味がありますし、また本当に幅広い世代の方から、いろんな立場の方から意見を聞かれて、そしてそれを集約していい方向で、本当に子供たちを育てるためにそういう方向で行っていただけたらと思います。

町の地域防災計画は、見直す方向で検討されているようですので、私も町民の一人としても、町のホームページや、また広報のほうにもいろんなアンテナを張って、日ごろから防災意識を、町民の一人一人の方が高めていくということが、災害を本当に甚大にしない一つだと思っております。

では、以上で私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（山本 隆俊） これで津曲牧子議員の一般質問を終わります。

---

### 日程第1. 一般質問

○議長（山本 隆俊） 次に、10番、後藤隆夫議員の質問を許します。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。おはようございます。私がここに上がると、何か期待をされている人がおられるかもしれませんが、二、三日前に開花宣言が出されました。この開花の条件が、寒い日が続かないと開花はしないと、その寒い日のうちに開花の準備をするんだということだそうです。開花宣言があったわけですけれども、桜の花が寒い寒い時間を通してぱっと開く、花が咲くということを休眠打破というんだそうです。町長も、町長が休眠というわけではありませんが、3期目当選をされました。ひとつ万葉の桜が花開くように、3期目頑張ってくださいというふうに思います。

さて、本題に入らせていただきますが、通告どおりに質問を行いたいと思います。

私は、消火設備の点検及び設置についてということでございます。住宅近辺及び公共施設、あるいは介護施設等の消火栓、消火設備は、整備されているでしょうか。その中で、公共施設、介護施設、福祉施設、こういったスプリンクラー、火災報知機等の機能点検及び指導はどのように実施されているのか、2番目に、501箇所ある消火栓の点検の実施はどのようにされているのか、それから3番目に、施設及び住宅密集地、団地等の消火栓近辺に消火ホース格納庫、消火ホースを設置し、活用することはできないだろうか。これは、非常に初期消火、あるいは延焼防止等に非常に効果があるのではないかと考えておりますので、その設置の意思をお伺いをしたいと思います。

2番目に、自主防災組織についてということで、もう出尽くしてしまいましたが、私なりに質問をさせていただきたい。

自主防災組織の育成及び進捗状況、2番目に、運用上のマニュアル等は作成されているか、3番目に、組織と行政、消防署等との連携及び定期的な訓練会合、これは開かれているのか、4番目には、緊急用資機材、こういったものの貸与は考えていないかということで、御質問をさせていただきたいというふうに思います。

あとは発言者席から質問を展開してまいりたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。お答えいたします。

まず、住宅及び公共施設、介護施設等の消火設備についてであります。消防法及び消防法施行令の規定により、建築物の用途、階数、耐火構造、延べ面積等により設置基準が定められており、本町の公共施設については基準に基づいた消火設備を設置しております。

次に、自主防災組織の育成についてであります。災害を予防する、あるいは災害発生時の被害を最小限に抑えるためには、公的機関の活動のみならず、それを補完する立場としての各地区における自主防災組織活動が重要であると認識しております。

今年度におきましても、県事業のみんなで作る防災モデル地区育成事業の活用、自主防災組織結成の際の助言や資機材の整備等の支援を行い、自主防災組織の育成を図ってまいりました。

次に、自主防災組織育成の進捗状況につきましては、本町の防災計画上では、84地区の自治公民館を自主防災組織として位置づけておりますが、自主防災組織の規約を有するなど防災組織が強化されている団体は9団体であります。町といたしましては、今後も引き続き自主防災組織の育成、支援を図ってまいりたいと考えております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。今、町長のほうから答弁をいただきましたが、まずこの一番目から質問をいたします。

先だって長崎で介護施設の火災があつて、4人の方が亡くなり、非常に悲しい出来事でしたが、まず本町の介護施設関連のスプリンクラー、あるいは火災報知機等の点検、機能点検、こういったものはどのような形で点検をし、年に何回されておるのかお聞かせをさせていただきたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。施設のスプリンクラー、火災報知機等の機能点検についてでございますが、消防法第17条第1項の規定で定められる施設につきましては、年2回点検を実施し、東児湯消防組合に報告しております。そして、東児湯消防組合より改善等の指示があった場合は、速やかに修理、改善を行っております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。これまでに施設関連では指導改善を促したといいます

か、点検上、不備な点があったという事例はあるかどうかお伺いをいたします。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○10番（後藤 隆夫君） 総務課長。総務課関係の庁舎管理では、一部非常用等の誘導灯がないとか、そういった指摘を受けて、一応改善した事例はございます。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。それは、確認した上で改善が図られたということでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。庁舎内を見ていただければわかると思いますけど、非常用の方向の、非常用階段、そういった設置を全部消防立ち会いの上、配備いたしました。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。今、グループホーム関係で取り付けられている火災報知設備は、どのような報知機でしょうか。例えば警報だけ、あるいは消防署と連動しているというような種類のものもあるようですが、どのような種類のものを取り付けられているのかお聞かせいただきたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 健康福祉課長。グループホームにつきましては、スプリンクラー設置、あるいは自動火災報知機、これは消防機関へ通報する火災報知機の設備等を含めて、誘導灯、全て法に基づいた形の中で各施設とも設置をされているところがございます。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。押しボタンで消防署に通報できるという連動性のやつはありますか。どこか施設についているところがありますか。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 健康福祉課長。そういった形の中で、ボタンを押すと自動的に消防に通知が行くようなシステムというふうに伺っております。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。非常に大切なところだと思うんです。いち早く消防が駆けつけるためには、やはりそういった面倒くささとか、迅速な対応が必要になってくるだろうと思いましたので、質問をいたしました。

次に、一般住宅関連の警報装置は、昨年から取り付けられるのが義務になりましたけども、ここあたりの設置率はいかがでしょう。検査をされたか、今どのように設置率がなっているか、質問をいたします。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。高鍋町における設置率は、約60%になっております。児湯郡内ではちょっと低い位置になっております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。まだ60%ということで、ちょっと低いのかなという感じがしましたが、火事、火災というのは、やはりうちでは燃えないとか、うちでは火災は出ないとかいう気持ちからして、つけない方もいらっしゃるだろうと、安心しておられるだろうと思うんです。火災は出ない、発生しないというような気持ちが火災を起こす。

この間のグループホームの火災も、あれは全く人為的ではなくて、加湿器からというようなこと、一般家庭では、今コンピューター等が多くて、タコ足配線、こういったものの規格外のタコ足配線をつなぐと、非常に過電流が流れると熱を持つ、それがますます長時間使用すると、完全に燃えてしまう。あるいは、放火があったり、あるいはてんぷらの油、てんぷらを揚げるときの油の火元の消し忘れだとか、後始末の悪さとか、そういったことの原因で、非常に火災が多くなってきております。

高鍋町でもつい先だって、有名人の家がボヤ騒ぎがあったというふうに聞きましたけども、どこで火災が起きるかわからない。したがって、うちは起こさない、燃えないというようなことではなくて、万全の日ごろからそういう、まあきのうから出ておりますけども、啓発活動、そういったことも含めて、この火災報知機の設置は、警報装置の設置は、早目に取りつけるように行政のほうで指導をしないといけないというふうに思います。

これは、町長はいつも安心・安全という話をされておりますし、特に生命、財産を守るという観点から、ひとつ指導を徹底していただきたいというふうに思います。

それから、公共施設で、先ほどちょっと改善をしたという話を聞きましたけども、図書館とか資料館、家老屋敷、こういったところにはどのような防災のそういった報知機なりスプリンクラーなり備えつけられてあるのかどうか、再度伺います。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。歴史資料館とか美術館、それから図書館等につきましては、一般の消火器具以外に、自動消火器、トマホークとかいう名前なんですけど、そういったものを導入しております。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。今、自動消火器と言われましたが、それはスプリンクラーのことでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。ガスで消化するものであります。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。ガス、人命、人体に影響のないガスが出てくるという事でしょうか。（発言する者あり）炭酸ガス。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。そのガスといいますのが、資料館とか図書館とかにつきましては、大切な古文書等があります。そういったものを害さないための内容のガスでございまして、もちろん人体的にも無害になるようなガス銃であります。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。なぜこういうことを申し上げたかと申しますと、今課長が言われたように、図書館には非常に重要な古文書等々の問題もあり、資料館、美術館、ましてやここあたりは、町にとっては大事な財産であります。また、町民にとっても大きな財産だろうと思っておりますので、そういう消火設備については、先ほど町長のほうから公共施設については消防法、設置法、そこあたりの万全の対策をとっておるというふうに答弁をいただきました。いつ、どこで、どのような形で火災が起きるかわかりません。これは、地震の後の火災、あるいは人為的な火災、先ほど申し上げたようなこともあります。ひとつ十分、火災防止、これには力を入れていただきたい。

それから、終わったと思ったんですが、家老屋敷はどうですか。家老屋敷について消火設備はどのようなものが取りつけてあるのか、ちょっとお伺いをいたします。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。家老屋敷につきましては、通常の消火器具以外には、水、放水銃というものを設置しております。外から放水をしていくようなものでございます。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。家老屋敷も大事な財産でありますし、消火ホースはないんですね。消火ホースというか、消火ホースを格納しているとかいうことではないですね。まあいいです。消火ホースの格納に入る前に、消火栓が501箇所あるということのようですけれども、この消火栓の点検等はどのような間隔でやられておりますか。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。町内に設置している消火栓の点検についてでありますけど、東児湯消防組合と各消防団において定期的実施しております。

また、点検において不備が確認されました消火栓につきましては、設置者である上下水道課に連絡し、速やかに修繕もしくは交換を行っております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。半年ぐらい前か、1年前かになりますけども、宮越の

消火栓については、どのようなトラブルだったのか、ちょっと聞かせてください。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。あのときは、議員協議会の中でも説明したと思うんですが、その地区の部はその消火栓は使われてないと、死んでいるということの認識があったんですけど、その隣の部まで、そこまでは、その消火栓が死んでいるという認識がなかったもんですから、その他の部がそれにつながんで、水が出なかったという状況です。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。こまごまで申しわけないと思いますが、そういったことが地域住民にも知らされてなかったということが、トラブルの原因だったんじゃないかと思えますけども、おっしゃるように、まあ消火栓、これ確実に取り付けられてかなりの年数が経過しているんじゃないかと思えますので、そこあたりもひとつ点検の対象にさせていただいて、いろいろ予算上の問題もあるかもしれませんが、そういった経年変化による老化により、トラブル等が、水が出ないとか、ねじっているうちに首がもげたとか、そういったことがないように、ひとつ万全を期していただきたいという思いから申し上げました。

それから3番目の、密集地における消火ホース、非常にこれは効果があるんじゃないかと思えますが、今現在、消火ホースが取り付けられている建物なり、何箇所ぐらいあるかお聞きをしたいと思います。

○議長（山本 隆俊） しばらく休憩します。

午前10時50分休憩

.....

午前10時50分再開

○議長（山本 隆俊） 再開します。10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。それでは、この庁舎には消火ホースは取り付けられておりますか。あと体育館、それから公民館、そこあたりは取り付けられておるのか、取り付けられてないのか、お伺いをします。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。大変申しわけございませんけど、この庁舎においては、消防法に規定する、直結式、ですから、消防車から下の導入管につながんで散水するというやり方になっております。——それに連携して消防ホースがあります。それで噴霧するという形になります。濟いませぬ。

○議長（山本 隆俊） 社会教育課長。

○社会教育課長（中里 祐二君） 社会教育課長。中央公民館には備えつけてございます。それから、総合体育館にも備えつけておりますが、町体育館につきましては——失礼いたしました。町体育館にも消防法どおりの設備が備えつけてあります。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。なかなかくじいと思われましても、やはり火災を未然に防止する、あるいは延焼、あるいは初期消火、これは非常に効果が高いというふうに思われますので、重要な施設にはそういった、まあ消防法で町長のほうから答弁がありました、取りつけてあると、基準どおりなんだとおっしゃいましたので、今後また消火ホース等が取りつけてある場所あたりは、私も参考に見させていただきたいというふうに思います。

それから、消火ホース、住宅密集地の消火栓近くには、消火ホースの設置はどこか、ある場所がありますか。

○議長（山本 隆俊） しばらく休憩します。11時5分まで休憩したいと思います。

午前10時55分休憩

.....

午前11時05分再開

○議長（山本 隆俊） 再開します。総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。格納庫の件につきましては、各地区各団において当時設置されておりますので、そこまでの数は把握いたしておりません。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。消火ホース、特に密集地帯には消火ホースがない場所があるようなことがあれば、今言ったような強力な効力を発揮するということははっきりしていますので、もちろん素人では、お話を聞くと、周りから、なかなか消火栓から直接消火ホースを取り出して取りつけるというのは技術が要るんだという話も伺いましたけれども、まずは技術よりも先に消火ホースがあれば、生命についてももちろんであります。財産が燃えるのを、ただ茫然と立って見とかなきゃならないということよりも、消火ホースがある分、消火にかかれるということもあると思いますので、ひとつそこあたりの設置に向けた努力を、ひとつ、町長はいつも安心・安全のまちづくりですので、ひとつ安心・安全の確保を、火災の面からもひとつお願いをしたいというふうに思います。ここあたりの取り組みは、町長、どんげでしょうかね。今後、逐一取りつけていかにやいかんという思いがありますでしょうか、町長。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。お答えいたします。今言われるのはごもっともだとは思っておりますが、今までホース格納施設がついておったところを、ずっと私も消防関係おりましたので、見て回っておりましたが、腐れて出なくなったりします。大変そのことでだんだん減っておりますので、それから道路の拡張等でいろいろありまして、東町にも確かあったと思うんですが、今はなくなっているということで、結局各部がまた責任持って消火にも当たってくるし、それから今、先ほど申されましたけど、火災報知機を各家につけていただくように周知をしていく方がいいんじゃないかと私は思っております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。古いものもいろいろ、消火栓つくられて大分時間がたつということもあるというふうに伺いましたので、そこあたり更新の時期に来ているのかなという気もしないでもありませんので、町長の意欲を期待したいと思います。

次に、同じようなことなんですが、自主防災組織、これについて、自主防災組織の育成及び進捗状況、これについてお聞かせいただきたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。自主防災組織の進捗状況と申しますか、先ほど町長のほうで、84地区のうち9地区という形でマニュアルを作成しているということでお話ししたと思うんですが、回答になるかどうかわかりませんが、本町独自のマニュアルは作成しておりませんが、消防庁発行の自主防災組織の手引きや出前講座等を活用し、自主防災組織の結成や活動に必要な助言等を行っております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。自主防災組織、9箇所あるということで、84公民館が、ほとんどそれは対象としているんだというお話であります。それはそれでよくわかりました。

次に、運用上のマニュアル等は作成されているのか、これは今、消防庁の基礎があるんですね。どういうふうな内容になっているかはわかりませんが、例えば自主防災組織が活動するのに、非常に判断が難しいと思うんです。地震、あるいは火災、津波、こういったときに自主防災組織は活動されるんだろうと思うんですが、そういったときに人命が優先であることは事実でしょうし、倒壊した、まあいろんな状況が、現場状況があると思うんです。そういったときに、ある程度のマニュアル的なものがあって、これはここまで我々がやれるもんなんだ、自主防災組織で。だから火災だけであれば、そんなに消火活動をやればいいかもしれませんが、地震だとか津波だとかいう話になってくると、これは、まあ津波なんかはすぐ逃げろと町長はおっしゃっておられますので、自主防災組織としての活動はほとんどできないというような状況になるだろうと思うんです。逃げるが勝ちみたいなことになる。で、自主防災組織というのは、それじゃあどこまでをどうやればいいのかというのがわかって、もしその規約の、消防庁が発行している規約の中にそういうものがあるのかないのかお願いします。質問をいたします。

○議長（山本 隆俊） しばらく休憩します。

午前11時10分休憩

.....

午前11時15分再開

○議長（山本 隆俊） 再開します。総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。済いません、まことに。自主防災組織の手引きの中では、消防団と連携を持った活動、それから炊き出し訓練とか、その他もろもろ、住民

同士が助け合う精神でそういった活動を行うような方針が打ち出されております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。余計なことだったかもしれませんが、やっぱりいろいろ判断に難しい面が出てくるんじゃないかと思ったものですから、自主防災組織というものを各地区でつくっておれば、もちろん津波のときにはすぐ逃げろとか、地震のとき、火災のときはこうだあだというあれもあるかもしれませんが、ある程度、マニュアルの作成は必要ではないかというふうに思っておりますので、そこ当たりも消防庁が出されている規約もあるかもしれませんが、独自の規約等のマニュアル等をどこまでやるのか、正義感の強い人はやっぱり各地区にもおられると思います、やっぱり。人を助けることに自分が逃げ遅れたりとか、どこかの役場の女性の職員じゃありませんでしたけども、最後まで「津波が押し寄せています、逃げてください」というふうに放送して亡くなった方がいらっしゃいました。こういったことも含めて、マニュアル作成は必要だというふうに思います。

それで、資機材のほうに入りますが、資機材の中に、資機材というよりも緊急用資機材のこういった貸与は考えておられないのか、伺います。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。資機材の貸与につきましては、現在のところ行っておりませんが、町では自主防災組織の育成及び活性化を促進するため、規約等による防災に関する事業を定め、資機材を購入する組織等に対する補助を行っておりますので、この制度を活用していただきたいと思っております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。そういう制度があるということは、住民の方に知らしめていらっしゃるだろうと思いますが、その中で、双方向性の無線機等は入っておりますか、資機材。今後そういう無線機を入れるようなあれはありますか。

防災無線の一方通行では、現場の状況とか資機材の必要性、そういうものが自主防災組織に貸与されておれば、ぜひともその双方向性の、せめて行政と消防、それから現場あたりで同じ周波数の無線機があれば、今、住民がどういう状態にあるとか、あるいは被災現場がどういう状態にあるとか、人間が挟まれているとか、地震で、そういったときに、そういった機材が必要だと、ジャッキだ、あるいはチェーンだ、あるいは鋸だ、ハンマーだ、スコップだというようなことが、すぐ準備ができると思うんです。地震、津波、あるいは火災、そういったときに、こういった無線機を貸与するような、入れるようなお気持ちはありますか。どうぞ。

○議長（山本 隆俊） 総務課長。

○総務課長（間 省二君） 総務課長。この補助要綱では、一応携帯用無線通信機は認められておりますけど、ただ消防団とそういったようなことの交信等には、つなげた場合大変な混乱が起こって、消火活動等もうまくいかないと考えておりますので、恐らくそこま

での対応がちょっと難しいと考えております。

○議長（山本 隆俊） 10番、後藤隆夫議員。

○10番（後藤 隆夫君） 10番。従来のやり方だけでは、人命は救えないというふうに思っております。やはり、今申し上げたように、現場の状況をいち早く確認をして、一人でも二人でも命が助かるということであれば、今までのこの津波が、津波とか地震とかいうものがなかった時代の規約かもしれません。そういったときに、双方向性は非常に難しいという話ですが、混乱するという話ですけれども、そこあたりの工夫をやりながら、無線機の活用みたいなことも、今後、一人でも二人でも命を助けるためには必要だというふうに考えましたので、質問をさせていただきました。

いずれにしても、施政方針でも町長は安心安全なまちづくりというふうにおっしゃっておられます。ひとつ行政において、あるいは町長のほうの施政方針どおりに、安心・安全の町で、町民の皆さんが安心して生活できるようなこういった問題も一つ一つ検討しながら、安全なまちづくりに努力をしていただければ、ひなもりやまに銅像が建つのではないかというふうに思いますので、ひとつ努力をしていただきたいと思います。ひなもり——花守山ですね。できるだけ等身大では目立たないと思いますので、4メートルぐらいの銅像を建ててもらいたいというように思います。

余計なことを申し上げましたが、以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（山本 隆俊） これで後藤隆夫議員の一般質問を終わります。

---

### 日程第1. 一般質問

○議長（山本 隆俊） 次に、8番、黒木正建議員の質問を許します。

○8番（黒木 正建君） 8番。私は、3項目について質問させていただきます。

その前に、今回の選挙で小澤町長が3期目当選されたということで、側近にも恵まれておると思いますので、またそういう人たちにも感謝しながら、町政発展のために頑張りたいと思います。

ここ上がって傍聴席を見ると、関係者以外の方は1人ということで、きのうは2人目からゼロちゅうことで、どうなってるんだちゅうような感じもするんですけど、きょうの宮日新聞に、県北版延岡の議会のことが出ていたので、ちょっとそれを述べさせてもらいます。

報酬が34万5,000円、これは高いか低いかは別としてというようなことで、要望書、定数削減の要望書やら3月議会で上がっているみたいなんですけど、四、五名減らしてちゅうことで、住民のほうから議員の活動が見えないと、そしてまた、これは市民と市議が意見を交換する機会の少なさがその根底にあるんじゃないかということでも出てますけど、あと議会基本条例とか、議会活動報告書とか、いろいろ出てるんですけど、一般質問の議場を見ても、人影がまばらな状態ということで、きょうひとりしかおられませんよね。

こういう状況で。批判するからには、市民も知る努力が必要だし、市議にも市民の関心をひく活動が求められているということで、きょう新聞に出ていたんですけど、高鍋も84ですか、連協が11、公民館が84あれば、二日間に分けたら42名ちゅうことですかね。お互いに話し合っ出て来たら、座るところがないような傍聴席になるんじゃないかという感じもするんですけど。

実際、議会が、議員の一般質問の内容が悪いから行ってもしょうがないって言われるのもしれません。また、議会運営委員会でもそういった住民になるだけ来てもらうように、そういったような質問の内容とかそういうのを配布したりしてやっているんですけど、それだけ高鍋の町民に関心がないのかとちょっとがっかりするところがあるんですけど、そういうことはさて置いて、最後でするので頑張っていきたいと思います。

それでは、質問の内容について述べてみます。

まず、高鍋駅舎の整備についてでございます。これにつきましては、現状と今後の方向性についてお伺いします。

それから2番目に、施設事業所の移設、移転に伴う跡地利用について、これは社会福祉法人晴陽会からの里高鍋事業所、これ蚊口地区ですけど、児童、住民等の交流の場として活用したいので伺うということです。これは、蚊口地区の子供、それから児童、それから高齢者、いろんな方たちの交流の場として使えたらちゅうことで挙げております。

それから3番目に、これはしょっちゅう挙げているんですけど、蚊口浜地区の枯れ松伐倒駆除について、これは町管理地の松と、西都児湯森林管理署管轄の区域が分けてあるんですけど、西都児湯森林管理署区域のほうは、予算的な、財政的な面もあって、毎年伐倒やらやっているんですけど、町管理のほうはなかなかそういう伐倒もできないということで、今回、伐倒が360万、それからあと消毒とかそういったのをひっくるとして506万7,000円ですか、そういうような予算を組んであるんですけど、今回は墓のほうの松、そちらのほうの伐倒をちゅうことですけど、1本当たり20万ぐらいかかるんじゃないかちゅうことで、そうした場合、360万にした場合、18本ぐらいですか。その大きさとか場所にもよると思いますけど、そういった継続的に今後とも続けていただきたいちゅうことで、今回質問に挙げております。

詳細につきましては、発言者席でお伺いしたいと思います。

○議長（山本 隆俊） 町長。

○町長（小澤 浩一君） 町長。お答えいたします。

まず、高鍋駅舎の整備についてであります。平成23年9月にJR九州から駅舎買い取りの打診があり、現在買い取る方向で計画協議書を提出しているところであります。

次に、買い取った後の具体的な活用策や、整備内容についてであります。今後引き続き検討してまいりたいと考えております。

高鍋町、ひいては児湯郡地域の玄関口として利用する方々へ観光情報などを発信するとともに、快適な駅舎への改修や、駅の所在する蚊口地区の活性化につなげてまいりたいと

考えております。

次に、社会福祉法人晴陽会からの里高鍋事業所が移転された後の、旧蚊口保育園跡地の利用についてであります。旧蚊口保育園跡地については、平成19年4月から社会福祉法人晴陽会へ土地、建物等を貸与しております。この間、同法人は日中一時支援事業や、※生活支援保護等の障害福祉サービス事業を運営されております。本施設は、町内にもう1箇所ある同法人の分場と一体的な運営を行うため、町内の旧シンコー精機跡地に新事業所を建設し、移転されるものであります。

同法人移転後の施設の活用につきましては、様々な観点から慎重に検討してまいりたいと考えております。

次に、蚊口地区の枯れ松の伐倒駆除についてであります。蚊口浜墓地内の枯れ松については、25年度予算に計上しておりますが、そのほかの町有松林内の枯れ松についても、国の24年度補正予算を使う伐倒駆除を県において実施していただくよう申請しているところでございます。

伐倒駆除は、単年度では完了いたしませんので、松くい虫の防除と併せて今後も継続して実施するよう、県や関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。——訂正をお願いいたします。社会福祉法人晴陽会のところで、「日中一時支援事業や生活介護等」を「生活支援保護」と言ったそうですので、「生活介護」にかえていただきたいと思いません。

以上です。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 8番。方向性というようなことで、3点についてお伺いします。骨格質問みたいな感じになるかもしれませんが。

まず、駅舎なんですけど、高鍋駅、しょっちゅう見ているわけなんですけど、非常に古い建物で、駅のホームの屋根を改修したりとか、あと売店の南側、あちらのほうをちょっと改修したりとかして、そのくらいの昔のままの建物で非常に古くて、大きな台風でも来たら倒れるんじゃないかというような状況の駅なんですけど。

高鍋駅の整備並びに高鍋駅周辺の活性化というようなことで、24年3月10日、11日、県の建築士会まちづくり委員会が主催で、役場、それから地元、JR、約60名ぐらい集まって、いろいろ検討会みたいなことをやったんですけど、それから11月14、15日も、熊本県のそういった関係のベテランの方をお招きしての講演、それからイベント会社、JR、役場、蚊口の五つの公民館がありますけど、その館長さん並びに婦人部等集まって、いろいろ高鍋駅について今度どうするかちゅうのがあれだったんですけど、いろいろ話し合っ、結論は別に出なかったんですけど、そういったあれもやっているんですけど。

高鍋駅が非常に古くて、ほかの各駅やらはどんどん整備されていっとるような状況で、そこ辺をJRがやっているのか、それとも各行政のほうでやっているのかと言ったら、行

※後段に訂正あり

政のほうでやっているのがほとんどじゃないかというようなのは聞いているんですけど、中には駅舎の中に観光協会を入れたりとか、それはそこそこでいろいろやっていくと思うんですけど、高鍋駅も委託というか、24時間勤務の3名で、今は1名新しく入った人の研修といいますか、その4名体制でやっているんですけど、手いっぱいちょうような状況であります。

この駅舎を買い取るとするとどのぐらい、建物自体は本当に二束三文だろうとは思いますが。大体どのぐらいの価格になっているんでしょうか。公表できんければ、公表できんって言うていいです。

○議長（山本 隆俊） 政策推進課長。

○政策推進課長（森 弘道君） 政策推進課長。まだこの分については、買い取りたいという方向性は向こうに示して、そういう協議をしたいということでお話ししているんですけど、それ以降、なかなか進展がなくて、金額についても正式な提示がまだないということで、そんなに高い金額じゃないというような話は聞いておりますけど、幾らという事についてお答えする段階じゃないのかと、まだそういう段階だと思います。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 8番。わかりました。今後またJRから行政のほう、また地域の方々といろんなそういう機会はあると思いますし、駅のいろんな事情とか、いろんな地区からの住民の要望とか、そういうのはいろいろ、ここをこういうふうにしてもらいたいとか、いろんなそれは聞いているんですけど、そういうのを言える段階でもないと思いますので、またそれが煮詰まってきたら、またそういうのを地域のほうにも流していただいて、検討していただければいいと思いますので、ぜひそれをお願いしたいと思います。

それから、うからの里、晴陽会、これは何月と今さっき言われたですかね、移転の時期ちゅうのは。

○議長（山本 隆俊） 健康福祉課長。

○健康福祉課長（河野 辰己君） 健康福祉課長。移転の時期でございますが、7月の夏休み前には新しい事業所のほうに移りたいということをお聞きしております。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 8番。今回、この質問で出したのは、場所的にも非常にいいし、日当たりもいいし、小学生なんかも昨年度やったら57名ほどいまして、3年生までは学童保育とか行っている人たちもおるんで、その上の人たちはやっぱりどうするかという問題もあるし、それから70歳以上の人が358名、これ敬老会のとときのあれなんですけど、本当いらっしゃるし、また連協長初め館長とか老人会とか、いろんな人にそういう話どうですかというようなことで活用方法とか、いろいろ話したところなんですけど。非常に利用価値もあるし、トイレなんかを見せてもらったけど、洋式やらがバチツとしてあるし、相当やっぱり金もかけてあるようだし、そういった福祉関係のそういったところも後を使い

たいというのがいろいろ出てきたりするんじゃないかと思うんですけど、そういうのが出た場合どうするかというと、やっぱりそういったのは優先的になるかしれませんが、そういうあれがあれば、蚊口のほうでそういった高齢者と子供たちとか、いろんな形の交流の場というようなことで、活用できたらちゅうことで、今回一般質問出しました。まだほかにもいろいろ、いろんな施設が町内でも前と違って、そういう事業所跡地とかいろいろ出てくるんじゃないかと思えますけど、そういうことで今回出したわけなんですけど、そこ辺も頭のほうに入れていただいて、非常にそういう、もし使えたらちゅうことを楽しみにしておられますので、またそういう方向に行けば、集まって検討をやらせて、今後どうするかというのを詳細についてまた話し合っていきたいと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

それから、蚊口枯れ松なんですけど、去年5月ですか、松の木にラベルが貼ってある、調査の。で、調査結果、松がいろいろ大きい小さいあると思うんですけど、そこ辺の分類されたら、そこ辺ちょっとお聞かせ願ひたい。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 産業振興課長。昨年5月から8月にかけて調査しましたもので、それこそ9月の議会で議員からの御質問にお答えしたとき以降に調査を再度し直したわけではございませんので、同様の数字ではございますけれども、大きさの分類としまして40センチ未満が16本、40センチから60センチまでが21本、60センチ以上が8本、計の45本になります。

以上でございます。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 8番。ありがとうございます。私も一般質問をする以上はやっぱり調べんといかんということで一つ一つ調べたんですけど、調査した以外にも50センチ以上が13本ぐらいありました。それからそういう早さといいますか、そういうのでどんどん、枯れていくのものすごい早いです。ちょっと枯れ出したら、何カ月かしたら黄色くなっているというような状況で、今回、墓地のほうということで、確かに前から話しているように墓石の上へ、あちらに落ちて来たら、これ絶対持ち主の人は賠償、補償してくれとか、絶対言っておられるし、またそういうふうにごたごた起きたらいけないし、またその前にやっぱり処置をしておかなければいけないし、そのためにはまた特殊な技術を持った、能力を持った人たちでないと、上から小さく切って下ろしていくとか、それで、前のときに1本当たり20万円ぐらいするんじゃないかちゅうようなあれが、話聞いたんですけど、それを先ほど申したんですけど、場所と高さ、大きさによってまた違うと思うんですけど。

墓地のほうはわかったんですけど、墓地以外のところ、キャンプ場あたりとか、ちょうど浜に真正面に上がっていったところとか、あそこもバーっと枯れて、キャンプ場も見られた方はわかると思うんですけど、あそこの下にテントを張れるような状況じゃないです。

いつ松が倒れてくるかわからん状況で。で、きのうなんか非常に強い風が吹いて、朝行ってみると、やっぱり枝が相当折れて落ちてます。松の木やら、枝からぼんぼん欠けていて、あと芯が残るちゅうような形。

1年ぐらい前、枯れた立っている松の木なんか、皮をはいでみますと、シロアリ、あれがべったりついてます。そういう松やらも切り倒して、あと土に戻すということで、そのまま放置してある。そういうふうにするようになってるらしいんですけど、消毒液はかけてあるんですけど、虫はずなりんごつたまって、何とかできれば一番いいんですけど、あとその墓のほうはそういうふうには伐倒するちゅうことですが、公園のほうやらそこ辺は何かならんもんなかと思っ。

そこらは、もちろん予算的な面が一番あれですけど、西都児湯森林管理署のほうは、そういう予算的なあれがあるから毎年刈って、今小さい松をいっぱい植えています。1メートル間隔ぐらい、ずっと。今、町のほうの管理地には植えないんだろうと思うんですけど、植えてもまた枯れてしまうような、かえって維持費が要るような問題、かえって雑木のほうが強くて、そういう後の維持管理もいらなくていいんじゃないかと思うあれがあるんですけど、去年は県のほうから121万だったんですか。県のほうからは補助、ちょっと、もっと上げてから何かちゅうようなあれはできないんでしょうか。

○議長（山本 隆俊） 産業振興課長。

○産業振興課長（田中 義基君） 産業振興課長。一応、毎回県のほうにもお願いをしますし、森林組合さん、管理署のほうにもいろいろ協議をさせていただきながら、何とか議員のおっしゃる町有林のほうのキャンプ場とかその一帯についての駆除等の本数も何とかふやしていただけないかということでは要望はしておりますところなんですけれども、なかなか県全体の予算等がございますもんですから、なかなか今のところ、今の状況でしか進まないような状況でございます。

○議長（山本 隆俊） 8番、黒木正建議員。

○8番（黒木 正建君） 8番。そういう松林を持っているちゅうか、そういう町村にとっては本当に大変だと思うんです。で、宮崎あたりも一ツ葉からずっと通ったとき見るんですけど、これ管理費がすごいやろうなと思うんです。高鍋は、行って見られるとわかると思うんですけど、恐らくあと二、三年したら恐らく松も全部無くなるんじゃないかと思うんです。一年、一年すごいです、枯れていくのが。

あと、枯れるのはしょうがないと言えばあれですけど、枯れた後の処置を、今後いろいろ頭を絞っていただいて、いろんな浜辺を利用される方からも、しょっちゅう言われるんです、いろいろ。長町課長のときから田中課長、いろいろ携帯で、浜、あそこ辺の住民の人と話してくれとか、そういうことを何回かありましたが、どんどん言われるから。本当にいろいろそういうのを働きかけをしてるのかと、議員はと、そういうのも言われたりして、十何回のうちの1回ぐらいは、直接話してくださいというてからそういうあれがあると思うんですけど、そういう状況です。

あと、サーフィンのほうも盛んで、非常にいいことですが、やはり浜辺は海浜公園、そこ辺からやっぱり、それとサーフィンやらと総合的に一体にならんと、サーフィンだけが盛んになって、片一方はめっちゃくちゃだとか、海水浴客はこれ以上ふえないと思うし、こういう状況だったら、キャンプも無理だし、そこ辺も総合的に今後考えていただいて取り組んでいただきたいと思います。

あと、そういう枯れ松でから負傷したとか、そういう大きな事故につながったとか、そういうないように、これは財政的にしろ大変だと思うんですけど、そこ辺ちょっと頭を絞って、今後取り組んでもらいたいと思います。

また、きょういろいろ質問をしましたのは、言いましたように骨格質問みたいなものですので、また引き続き次回に続けていきたいと思います。

以上です。

○議長（山本 隆俊） これで黒木正建議員の一般質問を終わります。

これをもって、一般質問の全てを終わります。

---

○議長（山本 隆俊） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれで散会します。この後、引き続き議会運営委員会を開きたいと思いますので、委員の方は正副議長室にお集まりください。

午前11時50分散会

---